



今年も安全第一!

今年度2回目の安全衛生大会が行われ、林業における労働災害の現状とその傾向を踏まえた安全確保の取り組みについて資料を基にディメンソの取り扱いについてのDVDを鑑賞、午後はハスクバーナ・ゼノア株式会社より中南信担当の武田浩一さんをお招きして、『チェンソーの最新事情と適切な目立て方法』と題した実践を含めた講義をしていただきました。

安全衛生大会は、今回で今年予定されていた分は終了です。昨年度不覚にも平成23年度衛生管理特別指導事業場に指定されて以来、安全衛生大会を年2回にし、安全衛生パトロールを行うなどして、技能職員にも注意を促してきましたが、今年度4日以上の休業を伴う労働災害は11月末現在で2件と、指導事業場になる前の平成22年の10件、昨年の5件を大きく下回る数字で、今年は安全衛生に対する意識の向上に大きな成果が見られた年となりました。

今後とも気を許さず、来年度もゼノア目指し、気を引き締め、意識向上に努めたいと思います。

11/22(木)第2回安全衛生大会を開催しました!



円柱加工製品作っています!

筑北小径木加工場

丸太を用いた製品をお考えの方は

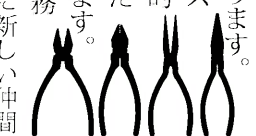
0263-64-3300 担当: 山本まゆ

筑北支所敷地内と同じくしてあるのが小径木加工場!円柱加工機が毎日忙しく活躍して、主に土木用材の横木や丸太杭などが作られています。それら以外にも、丸太水切や、自然に溶け込むように設置されている木製看板やベンチ・テーブルから、ちよつとした小さな建物も作成することがあります。

地元で育ったカラマツやスギの間伐材の有効利用を目的に、時には特殊加工を施したり様々な製品を制作しています。

専属職員はトラック運搬業務も含め4名、今年7月に新たに新しい仲間を迎えいそがしく作業にあたっています。

丸太を用いた製品をお考えの方、ご相談・お見積もりは無料!お待ちしております。



新人紹介

7月より加工場にお世話になっております西沢正太です。

毎日素敵な先輩方にかわりがらわれています。笑顔と体力で頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

所長より一言

器用貧乏で飛行機!

西沢正太です!

くみ組 まつもと広域 第9号

光差し込む山へ 集約化施策【御馬越団地】

昨年、組合員のみならずにも広報発行に合わせお知らせをしていた、集約化事業も団地化が進み、森林整備も目に見える形で進行し始めています。

今回ご紹介するのは、筑南支所管轄「朝日村」にある「御馬越団地」。朝日村では、近年イノシシやサルによる獣害が深刻化しており、獣害防止柵の設置に合わせ、森林整備による環境整備を行っている事から、組合が森林所有者様へ団地化の提案を行い、承諾を得て間伐作業を進めています。

現在では、積極的な村の協力も良い形で追い風となり、御馬越団地の他にも、村内に3地区の団地ができ、森林整備が進んでいます。

獣害防止柵設置に合わせての施業の為に所有者の皆さんとは現地を見ながら、柵の設置位置を決め、今後の管理に役立つような作業道の開設や森林整備を提案しながら進めています。が時には話し合いの接点が見いだせず、施業が進ま



森林所有者ごとに事業費、補助金、材の売り上げを精算している為、事業実施前には必ず現地立会いの上、境界確定をするのですが、森林所有者の方も境が分からないことも多く、境界確定をするのに時間を要することも多々あったと言います。

この団地で間伐された材は、ほぼ搬出間伐で中信市場へ運ばれており、平成24年度では、約60m³/haの出材の見込みがあり、カラマツは、末口12cmまでの物は4m材として6玉まで取って運ばれたが、残念ながら現在は材価が下がっているため、金額にすると平均で八千円/m。安くはありますが、切り捨て間伐に比べればきちんと材とし

【団地の概要】

間伐面積: 23.3ha
※ほぼ搬出間伐、一部切り捨てあり。

作業道: 2,000m
※地形、所有等を考慮し、既設道路等搬出に使用できる部分を活用し、維持管理は森林組合がする。

森林所有者: 28名

【現況と今後の予定】

- 平成24年度
間伐面積: 13.5ha
作業道開設: 1,200m
- 平成25年度予定
間伐面積: 9.8ha
作業道開設: 800m



て価値が着いたことになり。また、一部伐採木の残材は、所有者の方のご理解も頂きながら、朝日村庁舎のストープ用の薪としても利用されており、一部ではありますが端材まできちんと活用されています。

10月には、森林整備が進んだ御馬越団地を使ったイベントが2つ開催されました。その一つは、NPO法人「地球の緑と子どもたちの未来を守る会」主催の木育をテーマにした『木の伐採が未来を拓く!!』もう一つは、林業先進国のドイツよりドイツフォレストのミヒヤエル・ランゲ氏を招いた長野県主催の『ドイツフォレストシンポジウム』

どちらも御馬越団地の関係者ではない一般の方々も2週続けて団地を訪れ、山の未来を学ぶイベントに参加して行かれました。(イベント詳細は中面をご覧ください。)

本年度の整備予定はすべて終了。次年度に向けて間伐や林道開設の予定もすでに決まっております。今後も御馬越団地の森林整備は進む予定です。

松本広域森林組合は所有者のみなさんに「組合に任せて良かった。」と言ってもらえるような、事業展開をしてまいります。今後とも、ご協力の程よろしくお願ひいたします。



松本広域森林組合は所有者のみなさんに「組合に任せて良かった。」と言ってもらえるような、事業展開をしてまいります。今後とも、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

購買係の、今年もおじゃましました!

「林業資材販売」

今年も奈川地区文化祭に呼んでいただき、11月3日(土)に林業資材販売ブースを出店しました。

この文化祭への出店は二年目で、長野県森林組合連合会のご協力を得て、刃物、履物のメーカーの方に実際に販売されている商品を持ってきていただき、販売会をして来ました。当日は、文化祭参加の方も含めた皆さんの方が足を止めて頂き、購買係としても、



第911回記念市市況表

(平成24年11月19日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター Tel.0263-77-2347 Fax77-2349

樹種	長さ(m)	規格	木口(cm)	中値(円/m)	高値(円/m)	備考
ナギ	3.0	中	14~32	8,000	10,000	トビ・曲材忘れなし。
	4.0	中	16下	6,000	10,000	
あかまつ	4.0	込	18~70	7,000	57,000	需要期を迎え高値増える。ハリ材は依然弱含み。小径直材引合いあり。
	5.0~6.0	元	24~50	13,000	45,000	
	7.0~10.0	元	30~44	17,000	65,000	
ひのき	3.0~4.0	中	16~30	9,000	20,000	良材に高値。6.0m通し柱取り高値。柱材依然弱含み。
	4.0	元	30~40	20,000	55,000	
	6.0	込	16~38	25,000	101,000	
からまつ	4.0	込	13下	5,000	10,000	価格弱含。
	4.0	込	14~40	8,000	12,000	
からまつくりやきほう	5.2		48		134,000	広葉樹高値弱含です。御出品ください。
	3.0~7.4	一本売り	50~76	156,000	286,000	
	4.0		18~30	12,000	32,000	

出品量 6,498 m³ 販売量 4,532 m³ 落札率 70% 買い方 90社

記念市開催にあたって皆様より多量の出品をしていただき心より御礼申し上げます。おかげさまで、高値も活発でヒノキの6.0mや広葉樹に10万台の音が聞こえ、徐々に活気ある市況となりました。ヒノキ並材の低迷や、低質材が売れなかつたりと不安材料もありますが、好調な市況が続くことを期待するところです。引き続き出品よろしくお願ひします。尚、当連合会は合資木材に取り組みしております。出荷時には伐採届けの提出を必ずお願ひします。

協同組合がよりよい社会を築きます

☆お知らせ☆

①総代改選について
来年8月に総代改選が行われます。詳しい内容は、次号森組まつもと広域第10号にてお知らせいたします。

②薪の値上げについて
現在販売中の、なら新@20(税込)ですが、材料確保困難の為、値上げの方向で話が進んでおります。値上げ時期としては次年度4月以降を予定しております。ご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

③木質ベレット販売所について
11月より松本中山地区にてオガサワラ林業(株)で、木質ベレットを購入できるようなりました。今までは、購入できる場所がありませんでしたが、こちらでは終日販売をしてくださいます。価格は組合での購入時と同じ1袋400円の販売です。また、引き続き安曇野市ではVif糖高(穂高)・プラザ安曇野(豊科)・丸西酒店(明科)様でも単価は同じでご購入が可能です。あわせてご利用ください。

直売場所は こちら!

オガサワラ林業(株) お問い合わせ先 0263-58-5939 (口曜日ご購入希望の場合はお電話ください。)

松本広域森林組合 安曇野市三郷温4000番地 0263(77)2413 URL http://www.matsumoto-forest.jp

今年夏が過ぎて、気がつけば冬になってしまったような天候に、秋なんてあったかな?と思う方も多いかとは思いますが、晴天に恵まれた秋の数日に行われたイベントをいくつかご紹介いたします。

10月13日 (土)
堀金地区
岩原産産森林組合
間伐講習会

当日は、あづみ支所の片桐支所長も講師として加わり、3班に分かれ、実際に生産森林組合所有林内の間伐を行ないました。

2012!秋のイベント!!
この秋、こんなイベントに参加/協力しました!

講習は午後の2時間程を実践間伐講習にて、作業前には機械のチェック、終了後は各自持参したチェーンソーの使用後の手入れや目立ての方法等を学びました。また、前回の広報でもお勧めをした、チェーンソープロテクターの実物を見ていただき、安全な作業には安全な装備で!と言ったPRもさせて頂きました。

現在、長野県内には114の生産森林組合があるそうで、話によると近年は組合員



員の減少や高齢化、労務の提供不足に悩む生産森林組合もあると聞きます。このような自主的に講習会を開くことは、安全な山仕事を進められると共に、地域の山を守る為の人材確保にもつながる良い企画だと思いました。

10月21日 (日)
朝日村の御馬越
木の伐採が未来を拓く!!

「地球の緑と子供達の未来を守る会」主催の木育イベント『木の伐採が未来を拓く!』が行われました。

このイベントでは、当組合の作業員が実際にチェーンソーを使ってヒノキを伐採する様子を見ていただいた後には参加者のみなさんがノコギリを手に、家族で協力しながら1本の木を丁寧に枝払いしました。午後には実際にこれから施工される住宅の柱材になることが決まっている、ヒノキの丸太の皮むき体験が行われ、小さな子ども達も一生懸命に皮むき作業をしていました。

このイベントは木の役割を学ぶ「木育」をテーマに行われており現代の世の中ではなかなか実体験としてイメージしにくい木の役割を参加者の方にも体感してもらおう事が出来ました。また、組合が手



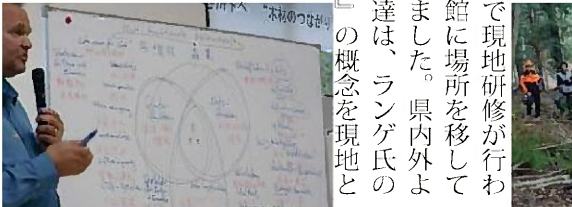
掛けた団地を利用して頂くことで、次世代を担う子ども達にも、現在進行形の林業を見てもらう事ができ、組合事業との初!コラボレーション企画として、現在の林業を次世代へ伝える、新たなチャレンジとして、良いきっかけになったと思います。

10月27日 (土)
ドイツフォレストシンポジウム

この週は林業先進国ドイツよりドイツフォレストで森林・林業再生プラン実践事業講師のミヒャエル・ランゲ氏と日独森林環境コーディネーターの池田憲昭氏を招いて、長野県主催の『ドイツフォレストシンポジウム』が開催されました。

午前には御馬越団地内で現地研修が行われ、午後は朝日村公民館に場所を移してシンポジウムが行われました。県内外より集まった林業振興者達は、ランゲ氏の提案する『将来木産業』の概念を現地と座学で学ぶ事の出来た1日でした。

ランゲ氏の提唱する『将来木産業』とは、保護・保全機能に優れた生物多様性に富む森林を構築していくうえで将来必要となる木を初めに選定して、その将

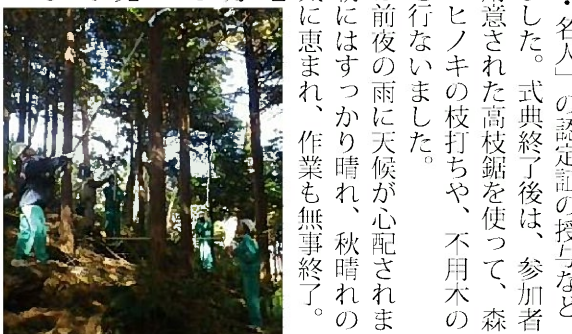


来木の生育を阻害している立木を除去していくと言う手法で、その為に森林をかさどる水・土・光のうち、唯一、人のコントロールできる光をうまく使うのだと述べられました。

11月8日 (木)
平成24年度
松本地区育樹祭

「森の名手・名人」の認定証の授与なども行われました。式典終了後は、参加者の方々が用意された高枝鋸を使って、森林公園内のヒノキの枝打ちや、不用木の伐採作業を行ないました。

この日は前夜の雨に天候が心配されましたが、朝にはすっきり晴れ、秋晴れの暖かい天気に恵まれ、作業も無事終了。お昼は、地元生坂の方々が用意してくださった秋の味覚を公園内でいただきました。



11月1日 (木)

安曇野市明科にて「森林病虫害防除研修会」が行われました。

午前中は明科公民館に東京農業大学客員教授の本山直樹先生をお招きして「松林に散布された薬剤の飛散実態と健康影響の可能性」と題した講演を聞きました。本山先生は、昨今松枯れが激発した地域での発生理由として、「散布された薬剤の飛散による」とする健康影響の訴えにより、不十分な防除しかできなかったことにある」と言います。また、健康への影響についての議論には科学的な検討が必要だとし、使用される薬剤は厳密な安全性試験が行われていると強調されていました。

午後はヤンマーヘリ&アグリ機の方々による現地研修「無人ヘリによる薬剤空中散布デモンストラクション」が行われました。当日は風速が強かった為に、山への散布風景は見ることは出来ませんでした。山を、山の谷間で、全長3.6kmの無人ヘリを、低空飛行ながら、下から無線操縦でヘリを飛ばし、高所作業車の上の操縦者ヘリレーする等の実際の作業で使われる技を見せて頂きました。

当日は県内の林業関係団体や行政機関の方々の他に、地元のおいしい虫被害対策協議会の方などの参加も多数みられ、住民のみなさんの関心の強さ、危機感なども感じる研修会でした。



松枯れ防止・樹幹注入剤 グリーンガードNEO

「我が家の松は大丈夫かしら?」の声! 松枯れ防止の為に予防剤の問い合わせも増えています。もうすでにご存じの方も増えています。もうすでにご存じの方も増えています。もうすでにご存じの方も増えています。

上記のイベントにも関連して、身近に迫った松枯れ被害に、最近よく聞くのが「グリーンガード・NEO」のご紹介です。樹幹注入剤の試用期間としては「マツノマダラカミキリ発生3か月前」とされ、一般には松脂が少なくなる12月~3月頃に実施していますので、そろそろ使い時です。組合での取り扱いはこれのみではありませんが、現在は薬効期間が7年と長いこれをお勧めとしております。あくまで、予防ですので、松枯れになってしまった木には効果はありません。

気になさる方は、まずはお問い合わせください。お問い合わせ先: 1本2,520円(税込) ※大きさにより必要本数が異なります。

ファイザー株式会社 HP: <http://www.greenguard.jp>

グリーンガードNEO 7年間保証効果試験 結果報告書

年目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
効果率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
枯死率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

2012 国際協同組合年

今年も、指折り数えられる日数を残すのみとなりました。2012年、国連の定めた国際年(全世界が共通のテーマについて1年を通じて呼び掛けや対策を行なう)は『国際協同組合年』でした。

私たちが加盟しています!

私たち森林組合をはじめとするさまざまな団体により「日本共同組合連絡会議(JCC) (Japan Joint Committee of Co-operatives)」を組織しています。(表①参照)そしてJCCのような国を代表する組織は国際協同組合連盟(International Co-operative Alliance)に加盟しています。ICAの歴史は古く1895年に世界の共同組合連合組織として英国に設立されました。現在の本部はスイスのジュネーブにあり、加盟組織は93ヶ国249団体、傘下の組合員数は世界全体で10億人を超え世界最大の非政府組織(NGO)となっています。

協同組合運動の7原則

ロゴに描かれている7人が協力して立脚をもち上げていく様子は、共同組合の事業が目指す様々なゴール・志や、それらの事業が果たせる成果を表現しています。その7人の人こそが共同組合運動における左記の7原則(協同組合がその価値を实践するための指針)を示しています。

- 第1原則 自主的に開かれた組合員制
- 第2原則 組合員による民主的管理
- 第3原則 組合員の経済的参加
- 第4原則 自治と自立
- 第5原則 教育・研修及び広報
- 第6原則 協同組合間の協力
- 第7原則 地域社会への関与

協同組合の主人公はつねに組合員。ロゴからも分かるように、協同組合は、組合員の助け合い(共助)の組織です。

国際協同組合年2012の背景...

09年12月の国連総会で12年を国際協同組合年とすることが決議されました。この決議では、共同組合について「人々の経済社会開発への最大限の参加を促している」「持続可能な開発、貧困の根絶、都市と農村におけるさまざまな経済部門の生計に貢献できる事業体・社会的企業である」と評価されました。こうした評価の背景には、07年の世界的な食糧危機、08年以降の金融・経済危機に対して、協同組合が耐久力・回復力を持ち、もう一つのビジネスモデルとして世界的な注目が集まった点があります。「協同組合は地域経済に根差しており、バブル経済とその崩壊の影響を最小限に抑え、経済システムに安定をもたらした」と指摘されています。

日本の主な協同組合の概況

組合名	組合数	組合員数(千人)	職員数(千人)
農業協同組合(JA)	770	9,494	224
漁業協同組合(JF)	1,092	362	13
森林組合(JForest)	711	1,575	7
生活協同組合	612	25,320	53
全労済	58	13,900	4
労働者協同組合	66	47	11
大学生協	228	1,509	2
労働金庫	13	10,058	11
事業協同組合	32,384	2,305	156
医療福祉協	117	2,680	30
信用金庫	279	9,311	111
信用組合	162	3,698	22
合計	36,492	80,259	644

※1: 09.3月末時点 ※2: '12国際協同組合年全業実行委員会資料より

2012 国際協同組合年 (IYP) 全業実行委員会HP <http://www.iyc2012japan.coop>